

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

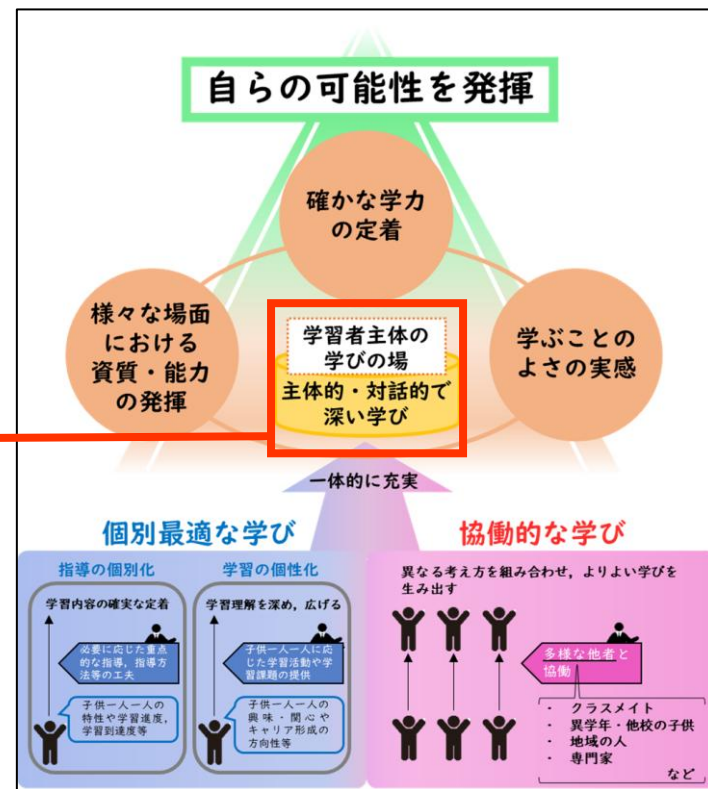
【研究テーマ】

子供一人一人が自らの可能性を発揮する学びの実現
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

（育成を目指す子供の姿）

- 自らの興味・関心や学習状況等に応じて、自分に合った学習の進め方で、課題解決を行ったり、多様な他者と協働したりしながら、よりよい学びを生み出すことができる子供
- 学ぶことのよさを実感するとともに、学びを通して身に付けた資質・能力を様々な場面で発揮することができる確かな学力を備えた子供

単元・題材等の全てまたは、一部の学習計画を子供が自ら考えたり、子供の学習状況等に応じて教員で学習過程を工夫したりするなど、多様な子供一人一人の興味・関心や学習状況等に応じた学習計画、学習過程になるようにした。また、個別最適な学びが独りよがりの学びに陥ることがないように、目標をより一層子供たちと共有し、学びを評価・調整しながらゴールへと向かう必要があると考え、各教科等と特質に応じて右の三つの工夫を行い、学校全体で取り組んだ。



学習計画や学習過程の工夫

課題設定や課題解決の工夫

学習環境の工夫

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【事例①】 社会科



自分の追究計画の設定

小単元の導入において、子供一人一人が個別に追究計画（問い）を立て、追究活動を複線化する取組を行うことで、問題解決に向けて目的意識をもち、より主体的に追究・解決することができるようにした。

【事例②】 体育科



振り返りシートの活用

設定したパフォーマンス課題の達成状況や、端末に記録した子供の運動や健康・安全に関わる生活の様子を、子供の振り返りシートと関連付けながら見取り・評価を行うことで、子供の実態を適切に把握し、次の単元等へ生かすことができるようにした。

【事例③】 特別の教科道徳

「学習形態・スタイル」の
自己選択・自己決定

道徳的価値に迫るために、自分自身が解決すべき問いについて、1人でじっくり考えたり、ペア・グループを作り、友達と対話したり教師と対話したりするなど「学習形態・スタイル」を自己選択・自己決定しながら、子供が自らの学習状況等に応じて学び方を選び、自分の考えを深め、広げるようにした。